



みたけさん

第17号

令和8年3月1日発行

発行 三嶽神社

編集 権禰宜 新山敏彦

ホームページ <https://mitakejinja.com>



三嶽神社の権現様。お祭りののち、遊子神楽により権現舞が奉納されます

「節句」について

三嶽神社宮司 新山敏春

節句は「節供」と書き、年間の節目にあたる日のことをさします。もともと節供とは、宮中で一年間の節目の日に天皇に供された食事を意味し、後にこの晴れの食事を供す日を節供と呼ぶようになりました。

その中でも、縁起のよい奇数の重なる五節供（人日、上巳、端午、七夕、重陽）は江戸幕府が公的な行事・祝日として定めたといわれています。

人日（じんじつ）の節句・七草の祝（一月七日）

七草粥でお馴染みですが、古く中国では正月七日に人を占ったことから人日の節句と呼ばれています。七草粥には、冬を乗り越えて芽を出す若葉の力強さをわけてもらいたいとの思いが込められています。

上巳（じょうし）の節句・雑祭り（三月三日）

三月初めの巳（み）の日上巳といい、もともとは人の形に紙を切り抜いた「ひとがた」で体をなでて、穢れを落とし、海や川に流す被（はらえ）の行事でした。その「ひとがた」が次第に豪華になり、現在の雛人形になったとされています。

端午（たんご）の節句・子供の日（五月五日）

端午とは月初めの午（うま）の日を指しましたが、五月五日を端午の節句と呼ぶようになりました。魔除けのために供えする菖蒲の花と尚武（しょうぶ）をかけて武者人形を飾り、次第に男の子の節句として広まったようです。

七夕（しちせき）の節句・七夕まつり（七月七日）

古くは、御霊（みたま）の衣服を織り、棚に供え、穢れを祓う行事でした。そこに中国から星まつりと手芸や裁縫の上達を願うまつりの風習が入ってきて、現在の笹竹に願い事を書いた短冊を結びつけて祈る行事へと変化していったようです。

重陽（ちやうやう）の節句・菊まつり（九月九日）

縁起の良い奇数（陽数）の最大値「九」が重なることから重陽と呼ばれます。古く宮中では、菊の花びらを浮かべたお酒をいただく宴が開かれており、民間でも前夜に菊に綿をかぶせ、九日の朝にその露で濡った綿で体を拭いて長寿を願ったようです。現在でもこの時期には各地で菊まつりが行われています。

ご覧戴いたように節句に込められた「思い」や「願い」、或いは「祓い」や「魔除け」にしても、その根本は神に通じています。

間もなく上巳の節句（現在では一般的に「桃の節句」といわれています）を迎えますが、雑祭りは「女の子の成長と健康をお祝いする祭り」であるとの意義をあらためて思い起こしてお祝いして戴ければと存じます。



祈年祭並びに火防祭

4月12日（日）午前10時から、令和8年の祈年祭並びに火防祭が執り行われ、農作物の豊作と火防が祈願されます。祭儀ののちは、遊子神楽による権現舞が奉納される予定ですので、是非境内に足をお運びください。

どんと祭斎行

去る1月15日にどんと祭を行いました。どんと祭は旧年中に皆さまがご加護いただいたお札やお守りをお清めの上お焚き上げする神事で、ご神火にあたることで一年の無病息災・家内安全を祈願するお祭ですので、来年は是非参列してみてください。

出張祭典のご案内

出張祭典とは、自宅や会社、建設地等へ神職が直接お伺いし、その場所でご祈祷をご奉仕することです。

ご家庭にありましては、地鎮祭や神棚の清祓い、井戸埋めなど、企業・店舗では、商売繁盛や作業安全、会社の記念日（創業・新年度・入社式）など、大神さまにお伝え申し上げたいご祈願の内容を祝詞の中で奏上致します。

三嶽神社では、祭壇やお供え物（米や酒、魚など）を神社から持参し、祭典の準備も基本的に神職が行いますので、祈願者様は、祭典がはじまるまで心静かにお待ちいただけます。

（神職の送迎は基本的に不要です。また地鎮祭の場合、祈願者様又は施工者様に砂やテントをご準備いただくことがございます。）

出張祭典のお申込み・ご相談は、お気軽に三嶽神社までご連絡願います。



一般住宅
地鎮祭



農家さんの味方
新年祈禱



斎藤整形外科クリ
ニック開院9周年
祈禱

今年も!!

桜のライトアップを行います

間もなく桜の季節がやってきます。今年も夜桜をお楽しみいただけるよう、開花後にライトアップを行いますので、是非ご覧ください



530(担当 新山)までご連絡下さい。
祈禱申込み、お問い合わせは、社務所にお越しください。ホームページのお問い合わせフォーム、または090-1878815

厄除祈願（厄払い・八方除け祈願）は、皆さまの鎮守さまである三嶽神社で受けられることをお勧めします。

令和8年という年が充実した年となりまして、三嶽神社では、誠心誠意心を込めてご奉仕し、祈願者の願い事を大神さまにお届けいたしますので、是非お祓いにお越しください。

そんな年回りでも、1年は1年。ならば自分が望まない事象により下を向いてしまふより、お祓いを受けて、厄を払い、大神さまのご加護をいただいで前向きに過ごされるほうが賢明です。

『厄年』や『八方塞』の年回りは災いが生じやすいとか、いいことなんて何もないかと思つていませんか？

厄除祈願のご案内

季節のご朱印

ご好評をいただいております「季節のご朱印」。3月は新緑、4月はチューリップです。

日本の文化や伝統行事をあしらった、季節を感じられるご朱印ですので、参拝の際には是非拝受をお申し出下さい。



3月



4月